◆ 基本目標５　スポーツ活動の充実 ◆

基本的施策　1　生涯スポーツの普及と振興

整理番号	5－1－1	市民の誰もが参加でき、地域や年齢層に合った スポーツの普及など、生涯スポーツを推進します	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		A：拡大・重点化

現状と課題

生涯スポーツの推進の一環として、市民の誰もが気軽に参加できるニュースポーツの普及・振興に取り組んでいます。今後も、ニュースポーツの普及・振興や地域に根付くスポーツの研究に努め、誰もが気軽にスポーツに親しみ、健康的な体づくりを行えるよう、生涯スポーツの推進をする必要があります。

事業の方向性

市民の生涯にわたるスポーツ活動を推進するため、「いつでも」「どこでも」「誰でも」「いつまでも」スポーツに親しめる環境づくりができるよう、ニュースポーツの更なる普及・振興に努めます。

具体的な取組

- ニュースポーツの研究と事業の企画・実施
- 市民がニュースポーツ事業に興味や魅力を感じられる情報発信

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
ニュースポーツ体験会の開催数	回／年	9 (R1)	12	ニュースポーツの普及・振興
ニュースポーツ大会参加者数	人／年	55	120	幅広い年齢層の参加をめざした参加者数

※【ニュースポーツ体験会の開催数】R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。
※【ニュースポーツ大会参加者数】R1年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、実績なし。R2年度は事業内容を制限。

整理番号	5－1－2	高齢者のスポーツ活動を促進します	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		C：継続

現状と課題

市内高齢者の健康維持のため、また、スポーツを主体とした活動の促進を図るため、野々市健康クラブ協議会に対し、活動の場の提供を行っています。今後もスポーツを主体とした活動の促進を継続し、活動の活性化を図る必要があります。

事業の方向性

市内高齢者の健康維持に向け、スポーツを主体とした活動の促進を今後も継続して行います。

具体的な取組

・ 市内高齢者に向け、活動の場の提供

若葉健康クラブ

椿健康クラブ

整理番号	5－1－3	体育協会やスポーツ少年団、認定クラブ、民間スポーツクラブ、高校、大学のスポーツ活動との連携を図り、市民の自主的なスポーツ活動への参加を促します	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		A：拡大・重点化

現状と課題

市と体育協会やスポーツ少年団等のスポーツ団体や教育機関が連携し、市民が自主的にスポーツに取り組むため、毎年発行している、スポーツクラブや市スポーツ施設の紹介、使用料金等を掲載している「スポーツガイドののいち」を用いた情報提供や、スポーツ団体に参加しやすい環境を整えています。

今後も市民が自主的にスポーツ活動に参加できるよう、すでに連携しているスポーツ団体だけでなく、民間スポーツクラブや高校、大学のスポーツ活動との連携を図り、市民に対し情報提供等を行っていく必要があります。

事業の方向性

市民が自主的にスポーツ活動へ参加できるよう、体育協会、スポーツ少年団、認定スポーツクラブだけではなく、市内でスポーツ活動を行っている民間スポーツクラブ、高校、大学のスポーツ活動とも連携し、市民に対し、市スポーツ施設や、スポーツ活動を行っている団体やスポーツクラブについて、冊子の「スポーツガイドののいち」だけではなく、インターネット等も活用し、幅広く情報提供を行っていきます。

具体的な取組

- 情報紙「スポーツガイドののいち」の配置
- 情報紙「スポーツガイドののいち」の掲載内容を拡大し、インターネットで情報提供

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
市内スポーツクラブの会員数	人／年	916	1,100	市教育委員会に登録された「野々市市スポーツクラブ」（認定クラブ）の会員数
市スポーツ施設利用者数	人／年	389,999（R1）	420,000	市スポーツ施設及び学校体育施設の一般開放による施設利用者数

※【市スポーツ施設利用者数】R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。

整理番号	5－1－4	スポーツに関わりを持つ市民の増加を推進します	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		C：継続

現状と課題

市民が競技スポーツの競技力向上のみならず、自主的な健康づくりのため、市スポーツ施設を活用し、スポーツを楽しむことができる機会の充実を図る必要があります。

事業の方向性

市民が、プロスポーツ等のレベルの高いスポーツを観ることなどを契機に、スポーツへの関心が高まり、スポーツを楽しむことで自主的な健康づくりが図られます。そのため、県内プロスポーツチームや市スポーツ関係団体と連携・協働し、スポーツを「する」人に加え、「みる」「ささえる」といった多様な形で、スポーツに関わりを持つ市民の増加を推進します。

具体的な取組

- 市民にスポーツ活動を促すための、ＳＮＳ等を活用した情報発信
- 市民がスポーツ事業に参加しやすい環境の構築
- 市民にレベルの高いスポーツを観る機会の提供

ツエーゲン金沢（Ｊ２）
野々市市ホームタウンサンクスデー

金沢武士団（Ｂ３）ホームゲーム

◆ 基本目標５　スポーツ活動の充実 ◆

基本的施策 2　スポーツ団体の育成

整理番号	5－2－1	研修会や講習会などの開催により、指導者の育成と指導力の向上を図ります	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		C：継続

現状と課題

市内におけるスポーツの活性化、競技力の向上に向け、研修会の開催や、外部の研修会に参加することにより、指導者の育成及び指導力の向上を図っています。今後も、指導者を育成するため、研修会の開催や、外部の研修会への参加を継続的に行っていく必要があります。

事業の方向性

市スポーツ関係団体、大学、プロスポーツチーム、民間事業者等と連携し、指導者の育成と指導力の向上及び新たな指導者の発掘を図ります。

具体的な取組

・ 市内のスポーツ指導者に向けた研修会等の開催

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
「指導者・保護者研修会」参加数	人 / 年	65 (R1)	90	スポーツ少年団主催事業
指導者・市民に向けた講習会参加数	人 / 年	15	50	市主催事業

※【「指導者・保護者研修会」参加数】R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、R1年度の数値を記載。
※【指導者・市民に向けた講習会参加数】
R1年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、一部事業中止、R2年度は事業の内容を制限。

整理番号	5−2−2	競技スポーツの強化のため、選手の発掘や競技力向上に向けた取組を推進します	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		A：拡大・重点化

現状と課題

市内の競技スポーツ団体の競技力向上に向け、活動場所の提供や石川県民体育大会の参加競技数の増加のため、競技スポーツ団体に対する呼びかけを行っています。今後は、更なる競技力の向上と石川県民体育大会の参加競技数の増加、子どもたちの運動能力が伸びる時期に、運動能力の育成を図る必要があります。

事業の方向性

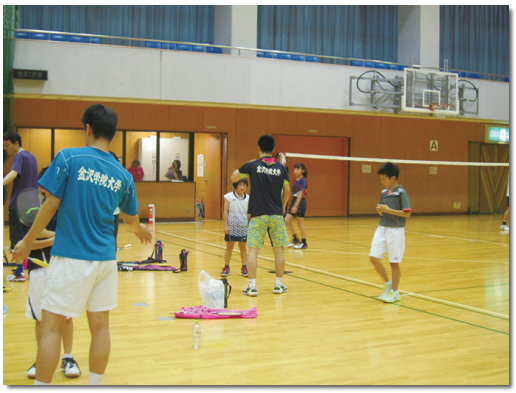
競技スポーツの強化のため、体育協会や加盟競技団体への支援とともに企業、民間スポーツクラブ、高校、大学等と連携を図ります。また、選手の発掘や競技力向上に向けた取り組みを推進するため、今後も活動場所の提供や講習会の開催を継続して行い、新たな取り組みとして、子どもたちの運動能力が伸びる時期に、運動能力の育成を多方面の団体と連携し行います。

具体的な取組

- 競技力強化に向けた多方面の団体との連携
- 子どもたちの運動能力が伸びる時期に、運動能力の育成を行う
- 石川県民体育大会選手派遣、競技力強化に向けた支援・活動場所の提供

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
県民体育大会への参加競技数	個 / 年	39 (R1)	46	呼びかけなど参加を促した参加競技数

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、夏季大会の事業中止のため、R1年度の数値を記載。



バドミントン能力向上講座
（講師　金沢学院大学バドミントン部）

整理番号	5−2−3	競技団体が主体となる各種のスポーツイベントなど、自主運営に向けた取組を推進します	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		C：継続

現状と課題

体育協会、スポーツ少年団が将来的に自主運営への移行が実現できるよう、市と連携･協力し、「野々市じょんからの里マラソン大会」等、各団体が主体となって、市民のスポーツへの関わりや関心が高まるイベントの企画、運営を行っています。今後も、体育協会、スポーツ少年団の自主運営の実現に向け、市と各団体が連携、協力し、スポーツイベントの企画力の向上と、事務局の運営に不可欠な団体の専任事務員の育成を行っていく必要があります。

事業の方向性

体育協会、スポーツ少年団の自主運営に向け、各団体が主体となって、より多くの市民がスポーツに関心を抱くことができる事業の企画力や、団体の運営力を身に付けることができるよう、市と各団体が連携、協力し、取組を行います。

具体的な取組

- 競技団体が主体となる事業の実施（野々市じょんからの里マラソン大会等）
- 競技団体への専任事務員の配置

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
さわやかスポーツフェスティバルの参加者数	人 / 年	1,938（R1）	3,200	各種目の参加者数
野々市じょんからの里マラソン大会参加者数	人 / 年	1,012（R1）	1,400	各種目の参加者数

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業中止のため、R1年度の数値を記載。

さわやかスポーツフェスティバル
（サッカー体験会）

じょんからの里マラソン大会

◆ 基本目標５　スポーツ活動の充実 ◆

基本的施策　3　スポーツ施設の利用促進と整備

整理番号	5－3－1	市スポーツ施設及び学校体育施設の一般開放など、市民に開かれた施設活用を推進します	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		C：継続

現状と課題

市スポーツ施設では、スポーツ団体の利用を計画的に設定し、個人利用者が優先的に使える日も設定することで、より多くの市民の施設利用につながっています。学校体育施設においてもスポーツ団体が計画的に活動を行うことで有効的に活用されています。市スポーツ施設では、より多くの市民の利用につながるよう、新規利用者の拡大に向け、普及啓発を行う必要があります。

事業の方向性

市スポーツ施設や学校体育施設が多くの市民の利用につながるよう、引き続き、スポーツ団体と個人利用者の利用を計画的に分けることで、新たなスポーツチームや個人利用者が使いやすい環境を整えます。

具体的な取組

- 市スポーツ施設の計画的な運用
- 市スポーツ施設の新規利用者への利用促進と普及啓発

成果指標名	単位	現状値(R2)	目標値(R13)	指標の説明
市スポーツ施設利用者数	人／年	389,999（R1）	420,000	市スポーツ施設及び学校体育施設の一般開放による施設利用者数

※ R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、事業内容を制限したため、R1年度の数値を記載。

整理番号	5−3−2	スポーツ施設の有効利用のため、市スポーツ施設、学校体育施設の計画的な運用を図ります	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		C：継続

現状と課題

スポーツ施設を有効利用し、スポーツ活動を活性化させるため、学校体育施設を市民のスポーツ活動等を行う場として開放しています。学校体育施設の運用は、学校体育施設開放指導員の管理のもとで行われており、運用方針を学校体育施設開放運営委員会で定め、市スポーツ施設と合わせ、計画的な運用によりスポーツ活動を行っています。今後も市民のスポーツ活動が円滑に行われるよう、スポーツ施設の計画的な運用を図っていく必要があります。

事業の方向性

スポーツ施設を有効利用し、スポーツ活動の活性化のため、引き続き、施設の計画的な運用を行っていきます。

具体的な取組

- 市スポーツ施設、学校体育施設の計画的な運用
- 学校体育施設開放運営委員会の開催
- 学校体育施設開放指導員打合の開催

整理番号	5−3−3	スポーツ施設の計画的整備を推進します	事業区分（方向性）
担 当 課	スポーツ振興課		C：継続

現状と課題

市内のスポーツ施設の老朽化と市民ニーズに対応するため、新たなスポーツ施設の整備を計画しています。

また、老朽化した既存のスポーツ施設については、施設の適切な維持管理に努めるとともに、計画的な老朽化対策を行っていく必要があります。

事業の方向性

令和３年度に策定した「野々市市体育施設整備実施計画」により、新たなスポーツ施設の整備は、健康増進、人的交流、防災の観点から検討します。また、既存のスポーツ施設については、実施計画及び「公共施設個別施設計画」に基づき、長寿命化に向け、改修等を行います。

今後も、スポーツ施設の整備や、施設の改修を行っていく際には、ユニバーサルデザインの視点から、誰もが利用しやすい施設環境づくりに努めます。

具体的な取組

・「野々市市体育施設整備実施計画」及び「公共施設個別施設計画」に基づいたスポーツ施設の計画的な整備及び改修等の実施

スポーツセンター（アリーナ）

スポーツランド（屋内プール）